



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 WDBホールディングス株式会社  
コード番号 2475 URL <http://www.wdbhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 大塚美樹

TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	24,100	9.4	2,480	25.4	2,480	25.3	1,428	20.4
28年3月期第3四半期	22,032	7.8	1,978	8.3	1,979	7.9	1,186	10.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,437百万円 (20.7%) 28年3月期第3四半期 1,190百万円 (9.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	71.24	—
28年3月期第3四半期	59.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,379	10,698	69.6
28年3月期	13,960	9,461	67.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 10,698百万円 28年3月期 9,461百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	2.50	—	7.50	10.00
29年3月期	—	2.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
通期	33,081	11.2	2,827	3.3	2,827	3.3	1,696	2.6
								84.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)尚、当社は、平成28年4月1日付で、WDBケミカルラボラトリー株式会社を設立しております。また、平成28年12月29日付で、ポストクスタイル株式会社の清算が終了いたしました。これにより、当社グループは、当社および子会社18社で構成されております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	20,060,000 株	28年3月期	20,060,000 株
29年3月期3Q	2,226 株	28年3月期	2,226 株
29年3月期3Q	20,057,774 株	28年3月期3Q	20,057,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表における四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、ゆるやかな回復基調で推移したものの、英国のEU離脱問題、米国大統領選の結果などをを受けて為替相場や株式市場が大きく変動するなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成28年12月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.43倍と、前月を0.02ポイント上回り、また、総務省が発表した平成28年12月の完全失業率(季節調整値)についても、3.1%と、前月と同水準となり、全体として改善を続けております。

当社グループは、化学・バイオ分野を中心とした理学系研究職派遣、機械・電子分野を中心とした工学系技術職派遣からなる「人材サービス事業」、基礎研究における実験業務と臨床試験以降の開発業務の代行・支援を行う「CRO事業」、有機化学品の受託製造、二枚貝を中心とした海水生物の販売・受託試験、射出成型機器の製造・販売を行う「研究開発・製造事業」ならびに、当社グループの支援を行う「グループ戦略補助事業」からなり、当社及び子会社18社で構成されております。今年度より、「CRO事業」につきましては、海外の子会社を通じて本格的な海外進出を開始し、また新たな事業領域として、人材サービス事業で培ったマッチングのノウハウと、インターネットを組み合わせた「インタラクション事業」を立ち上げました。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、WDB株式会社において、昨年度より全国に展開をしております研修所も順調に稼働しており、顧客のニーズにお応えしておりますとともに、平成28年10月に鹿児島オフィス、同11月に松江オフィスを開設し、それぞれ営業を開始しております。また、新卒者の常用雇用派遣を行っておりますWDB工学株式会社、WDBエウレカ株式会社につきましては、全国の顧客にスタッフを派遣しており、来期の新卒社員の採用活動についても鋭意取り組んでおります。

雇用情勢の改善によるスタッフの確保は引き続き厳しい状況ではありますが、当社グループ独自の研修制度や、より地域に密着した営業活動の実施により、今後も顧客からの様々なニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」につきましては、国内ではWDBアイシーオー株式会社の業績が堅調に推移しておりますほか、平成28年4月に設立しましたWDBケミカルラボラトリー株式会社におきましては、同じく平成28年2月に設立しましたWDB India Pvt, Ltd. (WDBインドア株式会社)とともに、主として創薬研究のための実験業務を代行することを目的としており、本格的な受注を目指して活動しております。

また、平成27年8月に米国フィラデルフィアに設立いたしましたWDB Medical Data, Inc. (WDBメディカルデータ株式会社)につきましても、本格的な事業開始に向け活動を行っており、グループ内で連携を取りながらグローバルCRO体制の構築を目指しております。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、24,100百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

営業利益につきましては、2,480百万円と前年同期と比べ501百万円(前年同期比25.4%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、2,480百万円と前年同期と比べ500百万円(前年同期比25.3%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,428百万円と前年同期と比べ242百万円(前年同期比20.4%増)の増益となりました。

各セグメントの業績につきましては、下記のとおりとなっております。

①人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、22,555百万円と前年同期と比べ1,964百万円(前年同期比9.5%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、2,612百万円と前年同期と比べ552百万円(前年同期比26.8%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

②CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は975百万円と前年同期と比べ129百万円(前年同期比15.3%増)の増収となりましたが、昨年度より展開をしております海外CRO事業について、事業立ち上げコストの増加により、セグメント利益(営業利益)は、85百万円と前年同期と比べ57百万円(前年同期比40.3%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③その他

当セグメントの売上高は、569百万円と前年同期と比べ26百万円(前年同期比4.5%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は37百万円と前年同期と比べ30百万円(前年同期比461.8%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産は15,379百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,418百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払金等の増加により4,680百万円となり、前連結会計年度末と比較して181百万円の増加となりました。また、純資産は10,698百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,236百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日に発表致しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,292,206	6,928,976
受取手形及び売掛金	3,699,765	3,723,411
商品及び製品	11,886	9,734
仕掛品	33,151	27,663
原材料及び貯蔵品	80,974	89,774
繰延税金資産	238,047	139,488
その他	368,816	392,321
貸倒引当金	△1,138	△234
流動資産合計	9,723,709	11,311,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,697,234	1,614,102
土地	1,441,263	1,441,263
その他(純額)	197,052	179,582
有形固定資産合計	3,335,549	3,234,947
無形固定資産		
のれん	43,446	27,153
その他	13,204	17,155
無形固定資産合計	56,650	44,309
投資その他の資産		
投資その他の資産	877,480	828,238
貸倒引当金	△32,589	△39,605
投資その他の資産合計	844,890	788,632
固定資産合計	4,237,090	4,067,890
資産合計	13,960,800	15,379,027
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,624,282	1,563,381
未払法人税等	579,681	292,421
賞与引当金	391,958	284,014
その他	1,294,126	1,897,539
流動負債合計	3,890,048	4,037,357
固定負債		
役員退職慰労引当金	344,738	362,467
退職給付に係る負債	134,682	145,175
資産除去債務	88,469	92,996
その他	41,478	42,840
固定負債合計	609,368	643,480
負債合計	4,499,417	4,680,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	8,273,397	9,501,645
自己株式	△553	△553
株主資本合計	9,490,868	10,719,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,947	17,092
為替換算調整勘定	73	△3,184
退職給付に係る調整累計額	△44,507	△34,835
その他の包括利益累計額合計	△29,486	△20,926
純資産合計	9,461,382	10,698,189
負債純資産合計	13,960,800	15,379,027



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	22,032,940	24,100,752
売上原価	16,642,665	18,119,705
売上総利益	5,390,274	5,981,047
販売費及び一般管理費	3,412,054	3,500,981
営業利益	1,978,220	2,480,066
営業外収益		
受取利息	394	64
受取配当金	2,172	716
還付加算金	240	532
受取保険金	246	511
雑収入	4,139	4,724
営業外収益合計	7,192	6,549
営業外費用		
支払利息	111	0
雑損失	5,346	6,091
営業外費用合計	5,458	6,091
経常利益	1,979,954	2,480,523
特別利益		
固定資産売却益	2,758	-
投資有価証券売却益	35,400	-
受取保険金	-	20,000
特別利益合計	38,158	20,000
特別損失		
固定資産売却損	-	608
固定資産除却損	-	2,551
減損損失	-	129,113
支払補償金	35,000	-
特別損失合計	35,000	132,272
税金等調整前四半期純利益	1,983,113	2,368,250
法人税、住民税及び事業税	708,236	830,624
法人税等調整額	88,487	108,801
法人税等合計	796,723	939,425
四半期純利益	1,186,389	1,428,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,186,389	1,428,824

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,186,389	1,428,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,850	2,145
為替換算調整勘定	△2,461	△3,257
退職給付に係る調整額	3,955	9,671
その他の包括利益合計	4,344	8,559
四半期包括利益	1,190,734	1,437,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,190,734	1,437,384
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,590,752	845,969	21,436,722	596,217	22,032,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,088	—	36,088	—	36,088
計	20,626,840	845,969	21,472,810	596,217	22,069,028
セグメント利益	2,060,211	143,579	2,203,790	6,665	2,210,456

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品の製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,203,790
「その他」の区分の利益	6,665
全社費用(注)	△232,236
四半期連結損益計算書の営業利益	1,978,220

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,555,670	975,414	23,531,084	569,668	24,100,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,531	72	18,603	—	18,603
計	22,574,201	975,486	23,549,687	569,668	24,119,356
セグメント利益	2,612,704	85,726	2,698,431	37,448	2,735,879

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品の製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形装置の製造開発事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,698,431
「その他」の区分の利益	37,448
全社費用(注)	△255,813
四半期連結損益計算書の営業利益	2,480,066

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「人材サービス事業」セグメントにおいて、中央研究所(千葉県松戸市)の建物の解体に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては129,113千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。